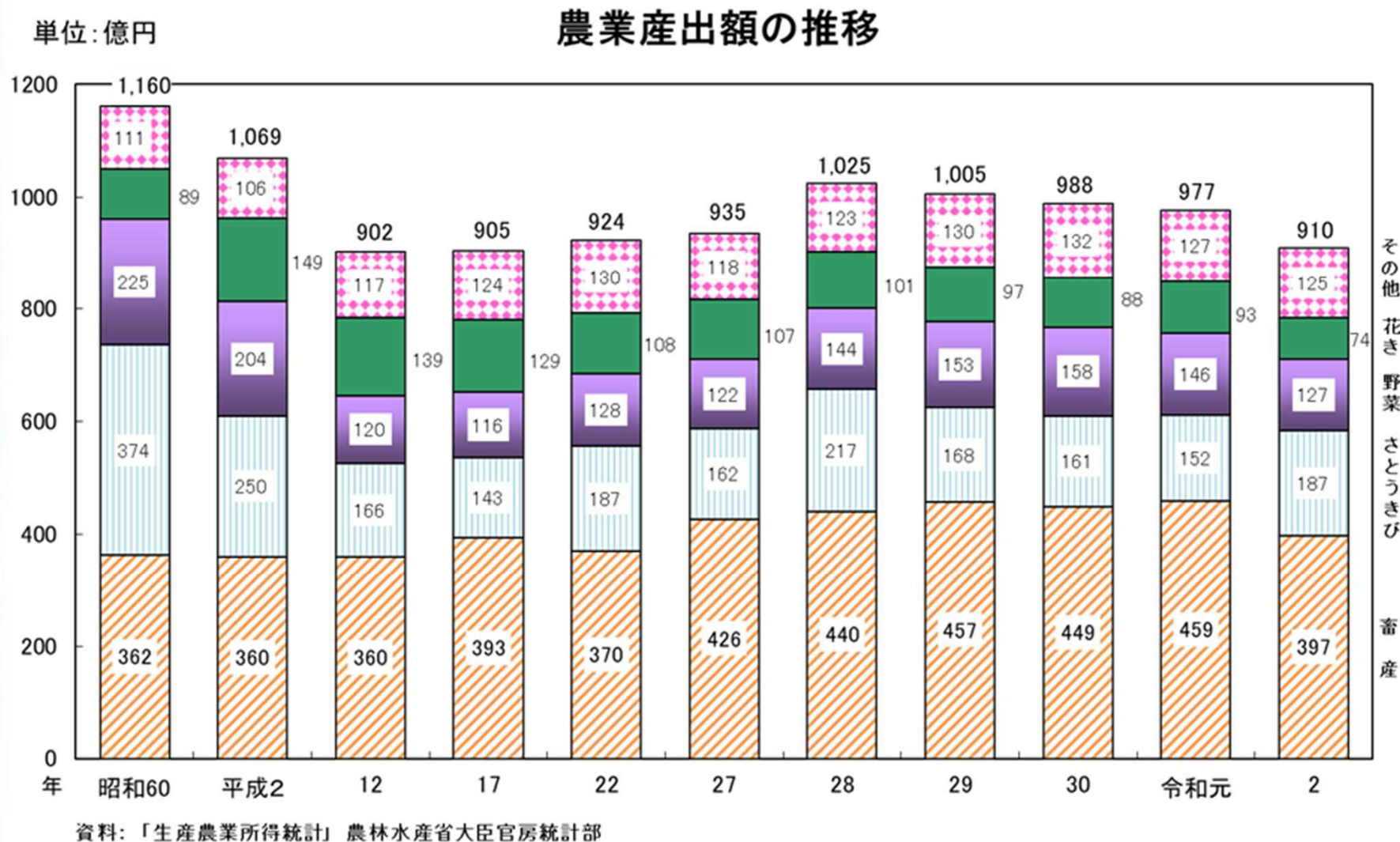




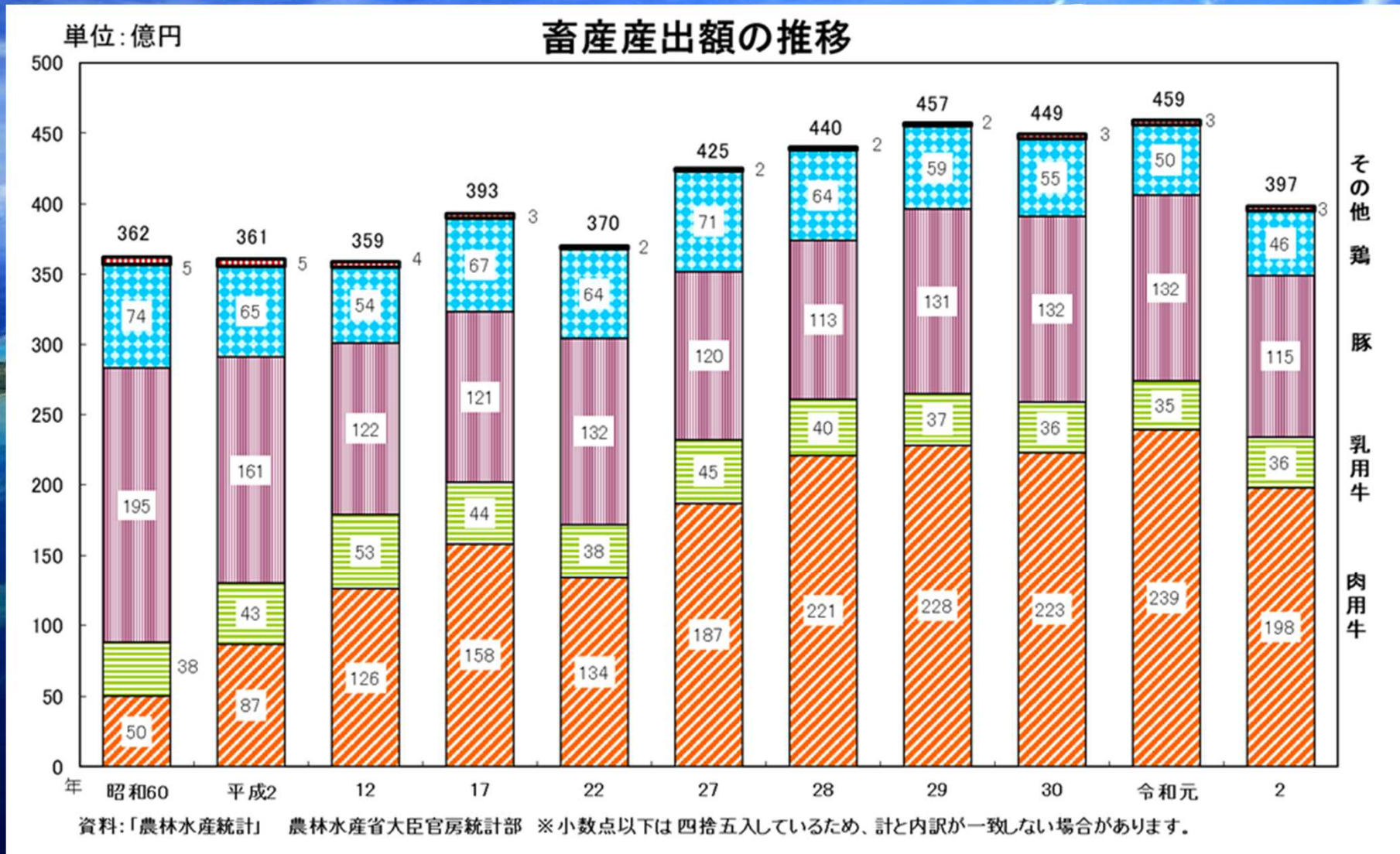
沖縄県職員
採用ガイダンス2023(畜産)

沖縄県の農業産出額について



令和2年の沖縄県の農業産出額は910億円で、そのうち畜産は43.6%を占めている。

沖縄県の畜産概要について



豚熱の発生により養豚の産出額が大きく低下した。
肉用子牛の価格も新型コロナによる需要減退で厳しい状況が続いている。

全国的にみた沖縄県畜産の地位（令和3年2月現在）

（単位：戸、頭、千羽）

畜種	沖縄県の順位（上段）		
	飼養戸数	飼養頭羽数	一戸当たり
肉用牛	8位（2,250戸）	8位（81,900頭）	42位（36.4頭／戸）
全国 2,604,000頭 42,100戸	1位 鹿児島県(7,030) 2位 宮崎県(5,150) 3位 岩手県(3,860)	1位 北海道(535,800) 2位 鹿児島県(351,000) 3位 宮崎県(250,000)	1位 北海道(235.0) 2位 滋賀県(224.7) 3位 三重県(194.6)
乳用牛	33位（64戸）	32位（4,310頭）	19位（64.4頭／戸）
全国 1,356,000頭 13,900戸	1位 北海道(5,720) 2位 岩手県(812) 3位 栃木県(639)	1位 北海道(830,300) 2位 栃木県(53,100) 3位 熊本県(43,800)	1位 三重県(181.4) 2位 北海道(145.2) 3位 島根県(123.9)
豚	5位（225戸）	13位（203,400頭）	41位（904頭／戸）
全国 9,290,000頭 3,850戸	1位 鹿児島県(477) 2位 宮崎県(404) 3位 茨城県(285)	1位 鹿児島県(1,234,000) 2位 宮崎県(796,900) 3位 北海道(724,900)	1位 島根県(7220.0) 2位 岩手県(5,707.1) 3位 青森県(5,598.4)
採卵鶏	21位（40戸）	30位（1,251千羽）	39位（25.3千羽／戸）
全国 180,918千羽 1,880戸	1位 愛知県(124) 2位 鹿児島県(116) 3位 千葉県(104)	1位 茨城県(17,756) 2位 鹿児島県(12,008) 3位 千葉県(11,605)	1位 青森県(197.5) 2位 岩手県(190.8) 3位 秋田県(151.7)
ブロイラー	26位（14戸）	28位（636千羽）	25位（45.4千羽／戸）
全国 139,658千羽 2,160戸	1位 宮崎県(443) 2位 鹿児島県(381) 3位 岩手県(315)	1位 宮崎県(28,012) 2位 鹿児島県(27,085) 3位 岩手県(22,600)	1位 北海道(565.2) 2位 鳥取県(292.9) 3位 岡山県(209.3)

肉用牛子牛取引頭数は、
全国4位！！
※令和2年度実績
黒毛和種のみ取引頭数

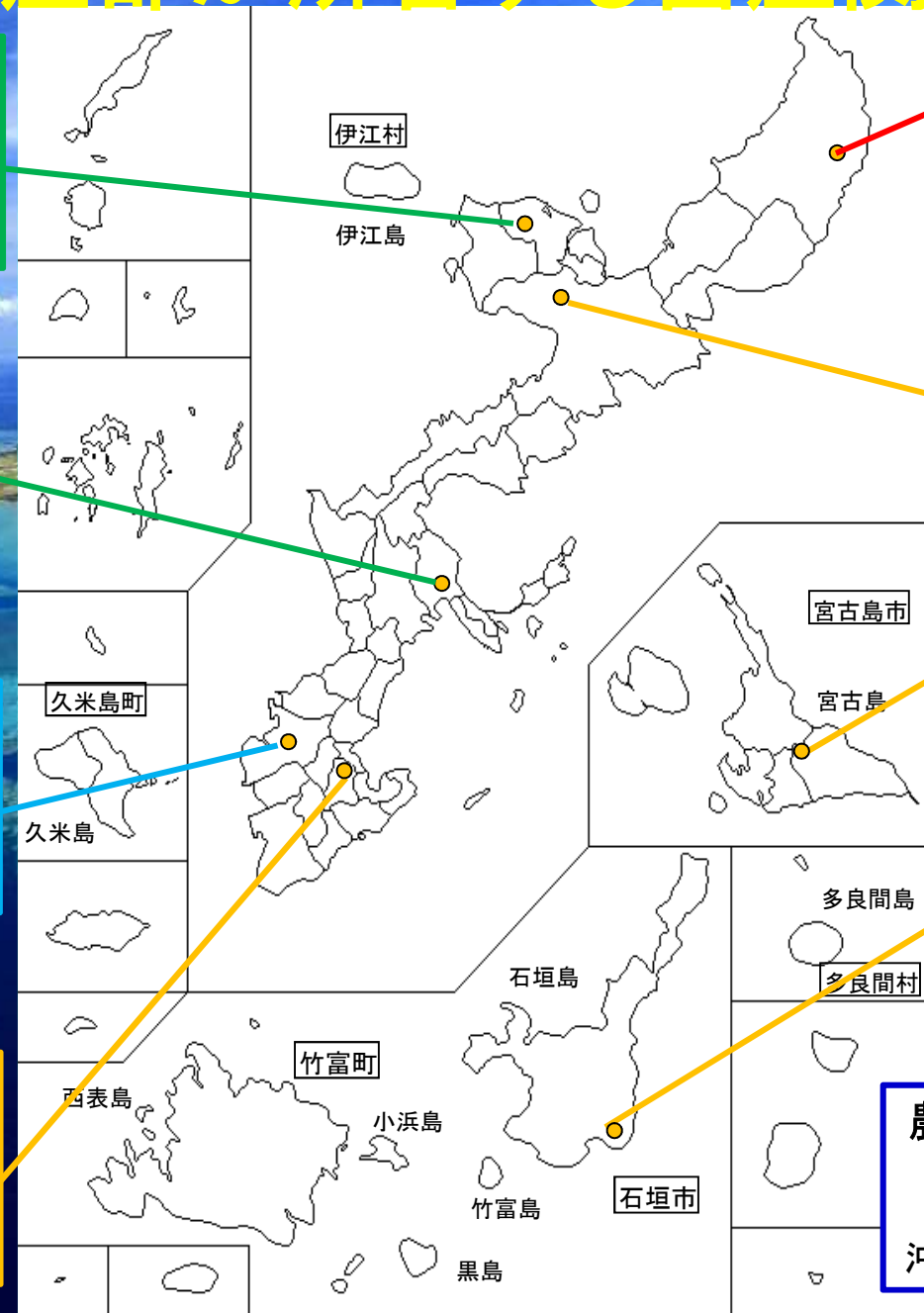
農林水産部が所管する畜産関係機関

畜産研究センター
(今帰仁村)
生産・改良などの畜産業に関する試験研究業務

家畜衛生試験場
(うるま市)
家畜衛生関連の試験研究や検査業務

農林水産部畜産課
(那覇市)
畜産行政の中心
関連事業の企画立案

中央家畜保健衛生所
(南城市)
本島中南部地域の
家畜保健衛生指導業務



家畜改良センター
(国頭村)
種豚の系統造成
ランドレース種の系統造成
乳用牛の育成・供給

北部家畜保健衛生所
(名護市)
本島北部地域の
家畜保健衛生指導業務

宮古家畜保健衛生所
(宮古島市)
宮古・多良間地域の
家畜保健衛生指導業務

八重山家畜保健衛生所
(石垣市)
八重山・与那国地域の
家畜保健衛生指導業務

農業改良普及センター ※
(各地域・離島含む)
安定的な農業の担い手育成
沖縄ブランドに向けた産地育成

家畜改良センターの業務について (種豚改良部門)

おきなわブランド豚増頭体制確立事業

おきなわブランド豚

ランドレース: 系統造成豚
「オキナワアイランド」



× → L

県外優良ランドレース



次世代ランドレース

× →



次世代繁殖母豚

おきなわブランド豚
(LWD)



とんかつ



てびち

W



大ヨークシャー

D



デュロック

アグーブランド豚

A



アグー: 肉質がよい
霜降り肉で融点が高い

×



→

アグーブランド豚



しゃぶしゃぶ

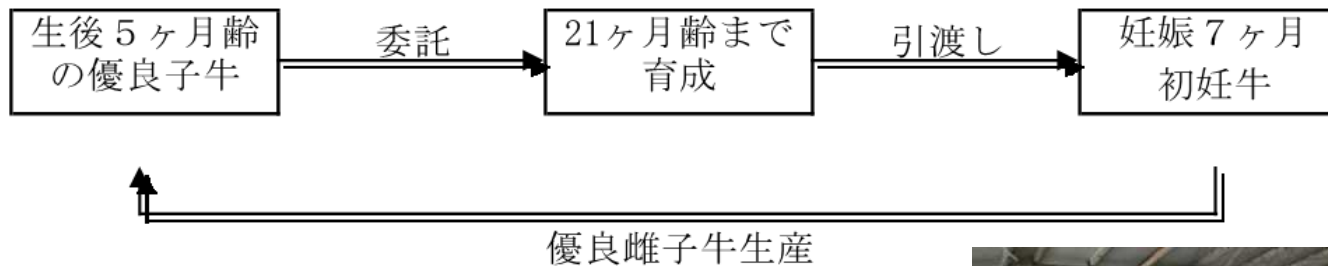
家畜改良センターの業務について (乳用牛部門)

平成29年度より乳用牛の育成・管理については沖縄県酪農農業協同組合へ委託

1 事業目的

県内の酪農家で生産された生後5カ月齢前後の雌子牛のなかから選定基準に適合したものを、委託牛として酪農家から預かり、大規模草地で生産された自給飼料等を利用して育成し、経済性の高い初妊牛として農家に供給する。

2 委託牛のフロー図



畜産研究センターの業務について (育種改良班)



気高系

生産地 今帰仁村 生産者 我那覇盛 生年月日 平成30年8月28日

直接検定成績	
1日増体量(kg)	1.46
現場検定成績	
BMS No.	検定中
上物率(%)	検定中

美百合

黒原6279 審査得点:83.7点

ゲノムモニター「美百合」

美百合は「百合白清2」を父に持つ気高系種雑種牛で、常体重に選んでいます。本牛の脂肪交雑ゲノム有価値がこれまでに達成した沖縄県種雑牛106頭中1位の評価を得ました。筋肉重量、ロース芯面積ゆびにバラの厚さのゲノム有価値についても飛び抜けた数値を示すなど、高単産価が期待されるゲノムモニターです。

形質	評価	推定育種価
枝肉重量(kg)		
ロース芯面積(cm ²)		
バラの厚さ(cm)		
皮下脂肪厚(cm)		検定中
歩留率(%)		
脂肪交雑		

黒毛和種

令和四年度 佐藤牛案内


OKINAWA KUROGE WASYU

①本牛です
②「安でい
③前脚
④ロ

(父)ロコロン(12, 109cm, 574kg)♀
×幸紀雄(10, 87cm, 498kg)♀
×幸紀雄(12, 109cm, 574kg)去
×勝昇龍(9, 75cm, 489kg)♀

品種登録出願中(2009年2月出願公表:第23220号)

ギニアグラス「うーまく」



左:ナツユタカ 右:うーまく

草種・飼料ニュースレター
Okinawa Green Grass VOL.5

ギニアグラス新品種の紹介

新品種「バイカジ」・「うーまく」は、従来品種にくらべ、収量・栄養価が高く、永続性も優れ、沖縄の気候風土に適しています。

バイカジ

品質・永続性に優れる

うーまく

収量に優れ、倒れにくい

特性

多収品種「ナツユタカ」の1.3倍程度の収量に優れ、「ガットン」並みの粗タンパク質含有率、再生性、耐倒伏にも優れている。

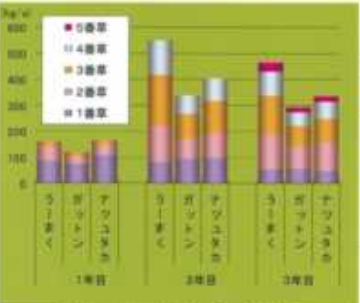


図2 乾物収量(2005~2007年)

品種名	乾物消化率(%)	粗タンパク質含有量(DMP%)
うーまく(新品種)	68.4	7.2
ガットン(普及品種)	64.8	8.2
ナツユタカ(多収品種)	56.3	6.3

*乾物消化率は利用3年目の1~5番草までの平均。
*粗タンパク質含有量は利用3年目の2番草(7月)。

「うーまく」は農林水産省が実施する指定試験事業(委託事業)により育成され、農林登録すべき品種として認められ、命名された品種であり、沖縄県で選抜育成された沖縄の気候風土に適した新品種です。

沖縄県基幹種雄牛の造成・凍結精液の製造

暖地型牧草の遺伝資源評価・種子採取

畜産研究センターの業務について (飼養・環境班)

殺菌水の煙霧散布を利用した畜産環境コントロールシステムによる豚生産向上

研究内容

煙霧散布と次亜塩素酸系殺菌水を併用した、消毒効果・冷却効果を持つ煙霧システムを構築し、豚舎に应用した。

煙霧散布

水を細かく霧状に散布することで、水が蒸発する際に熱を奪う気化冷却効果をもたらす。公園などの暑熱対策として利用されている。

豚舎内での応用

豚舎内で、消毒効果・冷却効果を発揮する畜産環境コントロールシステム(煙霧システム)の構築

次亜塩素酸系殺菌水

高い殺菌力を持ち食品添加物としても安全性に懸念がない。病院・食品工場等で利用されている。家畜が吸入しても安全であり、ポジティブリストの対象外である。

煙霧システムの内容

煙霧システムは、殺菌水を製造する簡易殺菌水製造機と煙霧の自動散布を可能とする煙霧散布装置から成る。(煙霧システム = 簡易殺菌水製造機 + 煙霧散布装置)

実験結果

煙霧散布により、

- ・温度が低下し湿度が上昇
- ・豚舎内の細菌数が減少(衛生対策効果)
- ・暑熱時でも安定的に増体(暑熱低減効果)
- ・簡易子豚育成装置で子豚損耗率が低下

煙霧システムは豚生産向上に有効であることが示唆された。

ニュージーランドから導入した山羊の精液配布

名号

キューピッド

品種：ヌビアン種

〔生年月日〕2018年7月20日

〔父〕アロハゴーツ・チェロ・ノエル

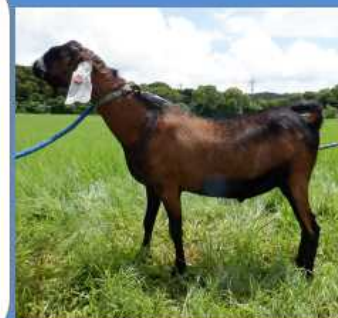
〔母〕アロハゴーツ・チェリー・レオナルド

体重 67.0 Kg

体長 85.4 cm

体高 83.5 cm

胸囲 96.0 cm



山羊の飼養管理技術

1) 人工哺乳と去勢

《人工哺乳》

人工哺乳は自然哺乳と違い、手間と粉ミルクの費用がかかるが、飲んだミルクの量が把握でき、母山羊と別飼することにより粗飼料及び人工乳の給与が容易であるため、離乳への移行がスムーズである。子山羊を群飼し、牛用代用乳(TDN108%以上)を温湯で溶かして給与(給与時40℃)している。



写真1 保温箱
不要になった水タンクを利用



写真2 人工哺乳
ボールにミルクを入れて集団哺乳

名号

WSB20

品種：ボア種

〔生年月日〕2018年8月27日

〔父〕7958.MUFK1215

〔母〕WSB15B052

体重 71.5 Kg

体長 81.0 cm

体高 77.0 cm

胸囲 91.0 cm



家畜保健衛生所の業務について (畜産振興業務)



牧草の収量調査



畜産共進会の審査



畜産経営の改善指導



畜産環境保全の指導

家畜保健衛生所の業務について (防疫衛生業務)



予防接種



高病原性インフルエンザ検査



衛生検査のための採血



畜舎消毒



みつばち腐蛆病検査



防疫演習

家畜衛生試験場の業務について

部門

ウイルス

ウイルス

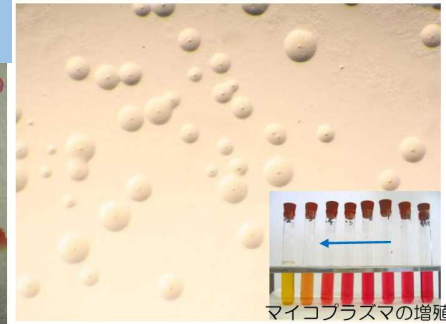


高病原性鳥インフルエンザウイルス
分離検査

細菌



マイコプラズマに感染した肺（豚）



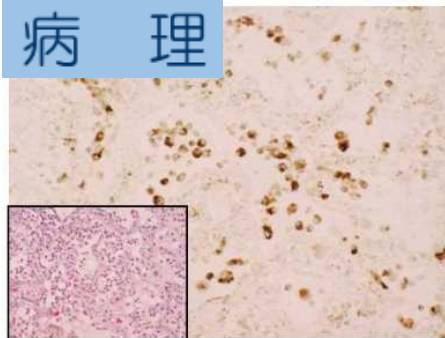
マイコプラズマのコロニー



マイコプラズマの増殖

細菌

病理



肺(豚)のPCV2抗原（×200、免疫染色）
枠内：同部位HE標本

生化学



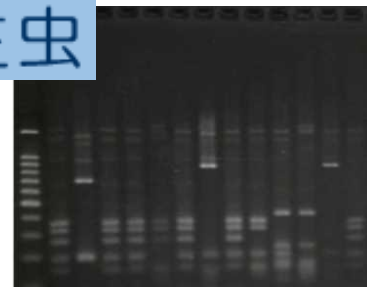
県内死亡牛のBSE検査
（ELISA法）

原虫・寄生虫

原虫・寄生虫



Theileria orientalis（赤矢印）と
Anaplasma centrale の混合感染



PCR-RFLP法によるDNA断片相
違の識別

庶務

県庁畜産課の業務について

主な業務

- ①事業の企画・立案、予算の確保
- ②調査・依頼物のとりまとめ・報告業務



業務担当班

- 飼料基盤班・・・家畜飼料、飼料基盤整備に関する業務等
- 家畜防疫対策班・・・家畜防疫・衛生に関する業務等
- 畜産政策班・・・家畜・畜産物の流通、畜産統計に関する業務等
- 生産環境基盤班・・・家畜の改良、環境基盤整備に関する業務等